



先人の功績を見る水原さん



貴重な民衆的遺産・石塁
急傾斜面の山や水内川を持つ佐伯区湯来町は、集中豪雨による水害に幾度か見舞われた地域です。日谷山善福寺の周辺も、裏山からの土砂くずれや蛇の谷川（水内川分流）の氾濫といった自然災害を受けてきました。「善福寺の寺域を守ろう」と、門信徒や地域住民が自主的に「石塁」を築いたのは江戸時代中期～後期（推定）のこと。石塁は本来、豪族などが外敵



佐伯区

保全活動がつなぐ地域住民の輪

日谷山善福寺の石塁

今年の4月25日に広島市と合併した湯来町は、豊かさと厳しさを併せ持つ大自然に囲まれた地域です。かつての地域住民たちは、水害から町を守るべく自らの手で“石塁”を築き上げたといひます。

新旧佐伯区民をつなぐ活動に
この石塁を一般に公開し自然教育や観光に役立てようと、湯来町民と近辺の市民団体による「湯来里山に触れ合う会」が、平成17年（2005年）4月に発足しました。会員は現在47人。毎月1回、石塁周辺の雑木や竹を取り除くなど、保存修復活動を行っています。



石塁は花こう岩を積み上げて作られています

Information

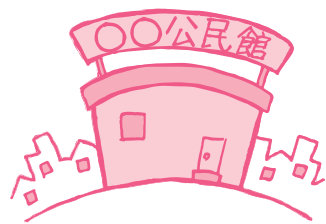
「湯来里山に触れ合う会」では、さまざまなイベントを定期的開催しています。専門家による石塁の解説や、コミュニケーションを深める催しも行っています。
問い合わせ ☎0829-85-0116（善福寺）

9月11日（日）には、触れ合う会が主催して、石塁を背にする月見台での観月会を予定。その日はお茶会や篠笛演奏も催されます。「新しいまちづくり」は、合併をプラス思考にする試みといえそうです。

併せて周辺整備もし、石塁の案内板や月見台の建設も進められています。旧佐伯区民と湯来町民をつなぐ架け橋としても「湯来里山に触れ合う会」は機能しています。今年4月から佐伯区の二員に仲間入りした湯来町ですが、広島市中心部に近い旧佐伯区民と湯来町民の交流も始まったばかり。価値観の違いに住民同士がとまどうことも見られるとか。善福寺の住職を務める水原史雄さんは、「広島市内で広く活動している『ひろしま人と樹の会』や、五日市の『湯来探訪くらぶ』といった町外の団体が活動に関わることで、新旧佐伯区民が互いの長所を認め合う場作りになれば」と、語ってくれました。



食べることは触れ合うこと。新旧佐伯区民が交流



仕事中心に生き、地域とのかかわりが希薄といわれている中高年世代が、今までに培ってきた知識や経験を生かせる場を設け、地域のために力を注いでほしいとの願いから、南区の7公民館（仁保・青崎・段原・大河・楠那・宇品・似島）が、「中高年のための地域デビュープロジェクト事業」を計画しています。



広島市南区公民館区内・ネットワーク事業実行委員会 中高年のための地域デビュープロジェクト

島市南区公民館区内ネットワーク事業実行委員会」を立ち上げ、9～10月を「南区中高年地域デビュー1月間」とし、中高年を対象に各種行事を開催する予定です。南区公民館の担当職員8人は「あなたの力で地域を元気にしてほしい」と多くの方々に参加を呼び掛けています。

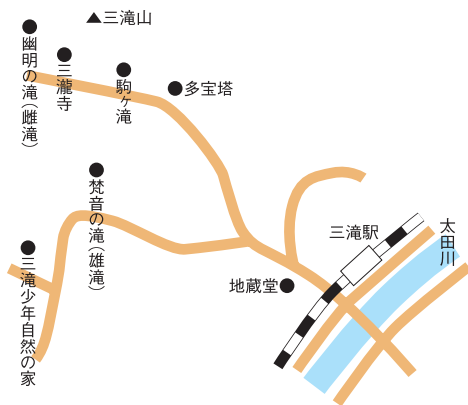
昭和22年から24年生まれの間、ゆるい世代が定年を迎え始める「2007年問題」が、間近に迫っています。退職後の人生をどう生きるか、また地域とどのようなかかわりを持つのかを探ることは、とても重要です。そこで、南区の7公民館は「広

中高年のための地域デビュープロジェクト事業

行 事 内 容	日 時	開 催 場 所	申込・問合せ
①40歳からの新 ^{ニュー} ライフ講演会 ～プロ野球界で学んだもの～ 講師:元広島東洋カープ外野手 野球評論家 山本一義 氏	9/23(祝・金) 10:00～11:30	南区地域福祉センター (南区役所別館)	受付は9月1日から ※ただし④は9月15日から いずれも先着で、対象は中高年 (おおむね40歳以上の方) ① 定員100人 ② 南区在住または勤務で ビデオカメラを所有している 方20人 ③ 2回とも参加できる方20人 ④ 大河・楠那・仁保・黄金山 地域の方(約100人) その他の地域の方(約20人) ⑤ 定員30人
②VIDEOでつなごう! 南区 ～ビデオ撮影のコツを学び、 地域行事に貢献しませんか!～	9/17(土)、18(日)、 23(祝・金) 10/1(土)、16(日)、 11/12(土) ※時間はお問い合わせください	青崎公民館ほか	
③小学生と行く! 愛らんど似島わくわくツアー 「ちょっとシニアなサポーター」体験	9/29(木) 19:00～20:00 10/1(土) 8:30～16:30	宇品公民館 似島臨海少年自然の家	
④黄金山ぴかぴかウォーク ～黄金山の自然をちょっと散策、 そしてクリーンにしよう!～	10/16(日) 9:00～12:30	黄金山 ※集合場所はお問い合わせ下さい	
⑤団塊世代の定年戦略セミナー ・まずは体力づくりから ・定年前後の家庭経済 ・体に美味しい会食会 ・自然観察体験 など	10/30(日) 9:00～15:00	宇品公民館	
			【問い合わせ先】 行事により担当及び申込み受付を する公民館が異なります。 詳細は下記へお問い合わせください。 仁保公民館 ☎082-281-1831



梵音の滝(雄滝)



ひろしま ぐるっと八区

広島には魅力あふれる地域や元気いっぱいの人たちが数多く存在します。
このコーナーでは、そんな「広島のステキ」を皆さんにお届けしていきます！



絵下山山頂からの展望は素晴らしく、山麓は絵下山森林公園として整備されている

安芸区

矢野の郷土文化を物語る

絵下山 (矢野地区)

絵下山・発喜山・明神山は3つ合わせて「矢野三山」と呼ばれ、矢野城を守る自然の要塞でした。絵下山は三山のうちで最も標高が高く、矢野地区の発展に重要な役割を果たしてきた山です。

市民に親しまれる絵下山

気軽なハイキングコースとして、多くの市民に親しまれている安芸区矢野町の絵下山。標高は584メートルで、テレビ塔のある三角点からは広島市街地と広島湾を一望でき、夜景が楽しめるスポットとしても知られています。かつては天然の城塞として機能し、名山と讃えられていた絵下山。最もその威力を誇ったのは、足利氏に矢野の地を与えられた野間氏が隆盛を誇った約10年間だと言われています。野間氏が構えた矢野城の後背地に絵下山が位置し、有事に備えて郭が設置されていたそうです。

矢野地区の魅力伝えたい

絵下山を含む矢野地区の豊かな郷

西区

長い歴史に支えられた 三滝

市街地にありながら、深山幽谷の趣を味わえる三滝。“三滝”の由来である駒ヶ滝・梵音の滝・幽明の滝を始めとして、国の重要文化財である木造阿弥陀如来坐像や日涉園、三滝山(宗箇山)の頂上にそびえ立つ宗箇松など、見どころ盛りだくさんの地区です。

ガイドマップ「みたき」を作ろう

三滝エリアには、大きく分けて2つの散策ルートがあります。三滝山の自然を観察するコースと、山麓の歴史的名所を散策するコースです。これらのルートを巡るガイドマップ「みたき」が、平成13年(2001年)に作成されました。

作成にあたったのは、西区役所の公募に応えた三滝の郷土文化に関心を持つボランティアの皆さんです。歴史研究家や登山愛好家に指導を受けながら散策をし、地区内の名所を記録しました。それをもとに、ガイドマップ「みたき」を制作。翌年には、出来上がったマップを利用して散策会を開催しました。以降、春や秋などの季節ごとに、三滝の自然と歴史を巡るハイキン



野間氏の祈願所の一つであった真光寺は、絵下観音堂として保存されている

土文化を、26年間にわたって研究・保存しているのが「発喜会」です。昭和54年(1979年)に会を発足したのは、野間氏の末裔であった野間新左衛門さん。当初7人だった会のメンバーは、時を経た今では約500人にまで増えました。矢野地区における山河の名を冠した「発喜山」「絵下山」「明神山」「矢野川」という郷土誌を5年ごとに発行し、知られざる伝承や史跡の保存に取り組んでいます。

矢野三山近隣の整備・修復も、「発喜会」が手がける活動の一つ。歴史の深い山ばかりだけに、古木が多くて整備が大変だとか。史跡や神社に看板を設置したり、春と秋には史跡めぐりを企画するなど、矢野の名所を紹介する活動も行っています。

現在の発喜会代表を務める楠精洲さんは、「矢野人」が持つ力強さが最も魅力だといいます。

「昔から、矢野地区は住民の結束が強い土地。苦しい時代には助け



県の重要文化財の多宝塔には、国の重要文化財である「木造阿弥陀如来坐像」が安置されている

グを企画・実施しています。また、「みたき」をリニューアルしたより詳細なガイドブックも作成する予定です。

歴史の深い町・三滝

三滝に生まれ三滝に育ったという土井史郎さんも、「みたき」作成に尽力した2人です。三滝本町町内会の連絡協議会事務局長として、三滝寺を中心とした三滝の発展に力を注いでいます。

時代の移り変わりに沿って、大きく変化してきた三滝の街並み。その原因は住民の増加にあると、土井さんは考えます。「人口増加に伴って住宅も車の交通量も増え、多くの史跡が移築されたり取り壊されたりしました。三滝寺は国や県的重要文化財を有する、古い歴史を持つ場所。時代が変われば町も変わるの仕方ないことですが、今残されている郷土文化は、できるだけ本来の姿で後世に伝えていきたい」と語ります。三滝寺の三十三観音や十六羅漢は、もともととは付け



「発喜会」の発行した郷土誌

TOPICS

発喜会では、毎年恒例の「春の史跡めぐり」を4月3日前後に開催します。茶臼山での花見のほか、矢野地区内の史跡を見て回ることができます。
☎082・888・0044(矢野公民館)



矢野城跡付近の整備にあたる「発喜会」の皆さん

合って暮らし、独特な温かい気質を育ててきました。また半農半商で生計を立ててきた町でもあるため、商売人ならではの合理性も持ち合わせていることが特徴。力強く温かい「矢野人」の気質や郷土文化を、できるだけ後世に伝えていきたいですね」とのこと。絵下山を中心とした矢野地区の魅力は、矢野を愛する住民の手によって守られ語り継がれていくことでしょう。



ガイドマップ「みたき」

TOPICS

ガイドブック「みたき」は、西区役所の区政振興課で入手できます。多宝塔内の「木造阿弥陀如来坐像」は、毎年11月中旬に開催される「もみじまつり」にて開帳されます。

☎082・532・0927(西区区政振興課)



三滝寺以外ではあまり見られない、左腕を枕にした状態の「羅漢」



地域の人々によってかけられた三滝山(宗箇山)の案内板



井口明神小学校の子どもたち。
ビオトープに放された小さなメダカやザリガニから、
命の大切さを学んでいます



ひろしまの会社のおもしろPレポート

レポートの“P”は、Philanthropy（フィランソ
ロピー・企業などが地域活動に参加すること）、
Peace（ピース・広島のアイデンティティーとし
ての平和）、Public（パブリック・公共に開かれ
ている）などの“P”をイメージしています。

あなたの知らないところで、社会貢献活動を行っている広島企業の
たくさんあります。このコーナーでは、そんな企業の取り組みをこ
紹介します。さて、今回はどんな企業が登場するのでしょうか？

自然繁殖したメダカやザリガニを学校へ寄贈 三菱重工業株式会社広島製作所

工場の敷地に息づく生態系

かつては広島市の空の玄関として、今
はショッピングやレストランなどのレジ
ヤースポットとして賑わう西区観音新
町。その大半の敷地を占めるのが三菱
重工業株式会社広島製作所です。さ
まざまな産業用機械を製作している
工場内には、作業用の大きな建物がい
くつも建ち並び、真つすぐ続く広い歩
道の脇には、桜やクスノキといった樹
木が青々と茂っています。

そんな広大な敷地の中には、総延
長4キロメートルもの側溝や水路が
格子状に張りめぐらされています。
一見生物など存在しないと思われる
この側溝や水路に、いつの頃からかメ
ダカやザリガニといった生き物たち
が棲息するようになりました。昨
年の台風による塩害で数を減らし
たものの、驚くべき生命力で自然繁
殖しながら、もとの生態系を取り
戻しつつあります。もともとここは
埋め立て地。いつ、どういった経緯で
生物が棲息するようになったのかは

分かりませんが、社員の誰彼となくメ
ダカたちが住みやすいように気を配り、
この生態系を優しく見守ってきました。

メダカと子どもたちの出会い

長きにわたって共生してきたメダカ
とザリガニを、何かに役立てられない
かと考えていた総務課の奥雅夫さんが、
”子どもたちに提供しよう”と思い立



工場内の側溝を見学に来た子どもたち

ち、近くの観
音小学校に
メダカを持っ
て行ったのが
9年前。それ
からは別の
小学校に異
動した先生
や噂を聞いた
先生たちから
も要望が届
き、現在では
県内外の保育
園や小学校、
大学などにも
寄贈されてい
ます。



寄贈先の幼稚園や小学校の
子どもたちから届いた手紙の
ほんの一部。総務課で大切に
保管されています



お話をうかがった総務課の
河野さん(左)と奥さん(右)

寄贈するメダカやザリガニ
は、社員がその都度捕獲しま
す。多い時には数百匹、千匹とい
った数のメダカを捕ること。また、3
年前から広島市で開催されている「教
材生物バザール」にも提供し、県内
の学校で教材として観察や研究にひと
役買っています。



小鳥の人気No1.巣箱。出入り口に取り付けてある棒に
つかまることができるという点が、人気の秘けつ？

や、トルベイントを施した美的な
もの、ログハウス風の作品など、素人とは思
えないものばかりです。

これらの巣箱は社員や見学に訪れ
た小学生らによって投票され順位が
決まります。コンテストが終わると、
工場内の桜やクスノキに取り付けられ、
小鳥たちの「愛の巣」として役立てら
れます(ただし、デザイン性と小鳥の
利用率は必ずしも一致しているとは言
い難いようですが…)。



三菱重工業広島製作所は、平成11
年(1999年)9月に環境管理の国
際規格であるISO14001の認証
を取得しました。省エネ、環境に配慮
した製品開発のほか、工場排水の水
質管理、廃材・廃棄物の削減などを推
進し、地球にやさしい環境づくりに努
めています。

そこには、
かなりの力
作が展覧さ
れました。
車や船、飛
行機といっ
た設計もの



巣箱コンテストの風景。かなりの力作を
前に、選ぶ子どもたちの目も真剣です

引越し先は小学校のビオトープ

西区の井口明神小学校も、三菱重
工業広島製作所からメダカをもらい
受けた学校の一つです。平成14年(20
02年)にビオトープ(ドイツ語で「ビ
オ」生物、「トープ」場所)を意味する
合成語。「動植物の生息空間」のこと
を作るようになった井口明神小学校は、
学区内の設計や土木の専門家、生物
の生態に詳しい人などに協力を要請。
教職員や児童はもちろん、PTAや地
域の人たちも加わり、手作りのビオト
ープを完成させました。

そこに放された三菱重工業広島製
作所のメダカ。子どもたちの歓声と笑
顔が広がりました。
大型ショッピングセンターや高層マン
ションが周りを囲み、国道やJRが通
るというにぎやかな環境にあつて、ビ
オトープが果たしてうまく定着する

おもしろ巣箱と小鳥たち

かどうかが心配されましたが、今では
自然繁殖したメダカが隊列を組んで
泳ぎ回り、いろいろな種類のトンボや
虫が飛来しています。

また、このメダカは5年生の教材に
も活用。まさに生きた教材として子
どもたちの学習に役立っているほか、
命の大切さを学ぶ上でも重要な役割
を果たしています。

さらにビオトープ内でホタルの飼育
も試されているので、水路にはメダカ
だけでなくホタルのエサとなるカワニ
ナも共存しています。

写真で学ぶ広島市の歴史

写真集『ふるさとの今昔』 第3集 東野・中筋・東原

財団法人広島市ひとまちネットワーク 東野公民館編 平成12年(2000年)発行



時代の変化によって失われつつある郷土の歴史や史跡を、少しでも後世に伝えていきたい— そんな強い市民の思いから、『ふるさとの今昔』は生まれました。平成7年(1995年)から平成11年(1999年)にかけて発行された『ふるさとの今昔 第1集・第2集』に未掲載の写真を集め、東野・中筋・東原地区の昔懐かしい風景をとどめた写真集となっています。

アストラムラインの開通後、宅地開発が進んだ東野・中筋・東原地区。人口が増加し続けているこの地の風景や建築・風俗などを、17項目に分けて紹介しています。「バスと神田橋」と題された昭和37年(1962年)の写真では、重量制限のため乗客を橋上に降ろした空のバスが、徒歩で渡っていく乗客の後ろを追いかけていくのかな様子を撮影。今では考えられない、古き良き時代の郷愁がたどよう1葉です。

毎号、いろいろなメニューが楽しめる

「らしっくCafé」。

コーヒーの代わりに生涯学習や市民活動に役立つ本やHPなど、

いろんな情報をご用意して、みなさまのご来店をお待ちしています。

さて、今回のご注文の品は…?

「おいしさ」が伝える郷土の伝統

受け継がれた「味」を、今伝える わがまちの郷土料理

仁保・大河・楠那・似島公民館共同編集 平成17年(2005年)3月発行



南区の仁保・大河・楠那・似島公民館が、「瀬戸内に伝わる郷土料理を次世代に伝えよう」と、地域住民の協力を得て共同で発行した郷土料理集です。それぞれの地域の特産である小いわし・生のり・広島カキなどを使った郷土料理や、お祭りのときにふるまわれたという伝統料理を実際に調理し、カラー写真で作り方とともに掲載しています。

今年6月に食育基本法が成立し、伝統食復活への関心が高まる今、昔の人の知恵のつまった郷土料理を後世に伝えるため、また「食」を通して郷土を知るきっかけとしても最適な1冊です。

※ここで紹介している本は、まちづくり市民交流プラザ3階図書閲覧コーナーでご覧になれます。

広島市の変貌を垣間見られる一冊

写真集『灘』 向洋・堀越・青崎

広島市青崎学区郷土史研究会編 昭和61年(1986年)発行

昭和59年(1984年)11月に発行された『灘の歴史』を、当時の記録写真によってさらに詳細に解説した本です。作成したのは「広島市青崎学区郷土史研究会」で、昭和60年(1985年)から資料の収集をスタートし、1年の編集期間を経て発行されました。

向洋・堀越・青崎地区における発展の歴史を、向洋出身の写真家鍵本勇三氏の作品や市民から提供された写真によって紹介。「古絵図」「神社・寺院」「学校」「風景」「産業」「行事」「風俗」「諸施設」の8項目で構成されています。“農業・漁業中心”だった向洋・堀越・青崎地区が、“近代工業”の町に変貌していく様子を垣間見ることができます。



今回のオナー
広島市の郷土を知る

今と昔を比較できる歴史書

佐伯区ふるさと文庫 『皆賀のあゆみ—わがまち探検—』

皆賀の歩みを探る会・財団法人広島市ひとまちネットワーク皆賀公民館編 平成17年(2005年)発行

平成14年度(2002年度)開講の「わがまち探検講座」(佐伯区の魅力づくり事業)から発足した「皆賀の歩みを探る会」による、写真をふんだんに用いた歴史書。“みなか”という地名の変遷から、平成16年(2004年)の八幡橋架け替えまで、皆賀地区の歴史を網羅しています。

同一地点を時代ごとに追って撮影した写真は秀逸。実際にこの本を眺めながら皆賀の町を歩いてみると、造幣局の施設・西広島バイパスの開通・八幡川にかかる橋の改修など、皆賀地区の変化の様子がつぶさに見てとれます。



広島会社が市民の“エンジョイ”を応援してくれる、おもしろスポットをピックアップ!

ひろしまの会社のおもしろPSPOT

ユニバーサルデザイン

今回は、すべての人に使いやすいようにと、「ユニバーサルデザイン」を取り入れた空間を特集します。

人に優しい港に变身 広島港宇品旅客ターミナル

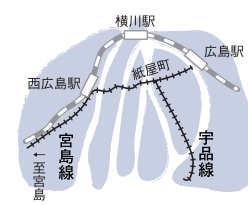
一日180便の客船が発着する広島港宇品地区。この「広島港宇品旅客ターミナル」は平成15年(2003年)3月に完成し、島しょ部や韓国への海の玄関として利用されています。案内板は4カ国語(日・中・韓・英)や絵記号で表示されており、海外からの利用者にも分かりやすく、エスカレーターは上り・下りとも3段フラットステップでお年寄りにも乗りやすくなっています。また、雨の日でも滑らないように、全フロアとも滑りにくくなっています。トイレやエレベーターは障害のある人も使いやすいようにと、音声案内や2段式の手すりなども設けられています。

今後、もれ橋や周辺の環境もより一層整備され、人に優しい港として多くの利用が見込まれます。



広島都市交通に新しい風 グリーンムーバーマx

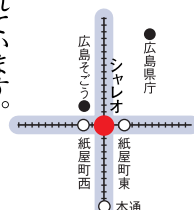
グリーンムーバーマxは、今年3月に運行を開始しました。開発段階から「国産」にこだわり、利用者や乗務員らの様々な意見を取り入れたため、従前のドイツ製車両に比べ、機能性も乗り心地も日本人に合った設計がなされています。中でも、お年寄りや障害のある人だけでなく、小さな子どもやベビーカーを押すお母さんにも配慮された優しいつくりは好評です。その配慮はというと、①通路を最大29センチ増幅 ②つかまりやすい垂直型の手すりを設置 ③譲り合いをスムーズにするため、車椅子優先スペースを椅子から背もたれ式のバーに改善 などがあります。現在、広島市内を走っているmax。一度その乗り心地を試してみませんか?



おしゃれで楽しい街は、どんな人にも優しい街 紙屋町地下街「シャレオ」

紙屋町交差点周辺の地下およそ8メートルにある「シャレオ」。交差点部分や市民球場前にはエレベーターが設けられているので、車椅子やベビーカーも楽に乗り降りすることができます。西通り中央部の車椅子対応トイレにはオストメイト(人工肛門・人工膀胱を持つ人)用設備もあります。また、目の不自由な方を誘導する音声案内装置も各所に施されています。

災害発生時には、避難方向を点滅して知らせる避難誘導装置が路面に埋め込まれ、同時に耳の不自由な方を誘導する文字放送装置が完備されています。歩いてみて気づくのは、自転車通行がないので、歩行が困難な方や小さな子ども連れの方でも安心してゆつたりと歩きながら買い物を楽しめるよう、さまざまな工夫を凝らしたつくりになっていることです。



新しいのに懐かしさ、利用者にも優しい 横川駅周辺

平成15年(2003年)8月23日、レトロなイメージを取り入れてつくられた「横川駅周辺」が完成しました。新しいのに懐かしさ、そして、みんなに優しい配慮があふれています。



JR横川駅の改札前広場には大きな屋根がかけられ、雨の日にも乗り換え先までぬれることなく移動することができます。また、JR路面電車バスタクシーの乗り場はフラットな路面で二つつながり、とても使いやすくなりました。駅の南北の出入口を通り抜ける地下道も完成し、歩行者はもちろんベビーカーや車椅子、自転車も遠回りをしなくてすむように設計されています。JRの改札からプラットホームまでは、今年度からおよそ2カ年計画でエレベーターの新設工事が始まります。完成すれば今まで以上に、みんなに優しい横川駅になることでしょう。

